

こんなときはどうする？

いよいよ受験校を最終決定する時期

受験校変更の ケーススタディー



学力はまだまだ伸びる。第1志望校は安易に変更せずに、確実に合格するための併願校の見直し方を紹介しよう。

ケース

① 第1志望校が AB判定



- ・よい判定だった場合でも、思わぬ失敗に備えて併願校を考えておこう。大学入学共通テスト利用選抜や地元で受験できる地方入試など、比較的手軽に受験できる大学を探すのも手だ。
- ・気になる大学は願書を手し、いつでも出願できる状態にしておく。

② 第1志望校が D判定以下



- ・実力以上の第1志望校を受けるなら、合格安全校を追加するのがよい。確実に合格できそうな大学の存在が本番に臨むときの安心につながる。
- ・併願校は、日程・科目・選抜方式に無理がなく、学びたいことが学べる大学かを調べる。

③ 第1志望校の 判定が下がった



- ・最後の最後まで学力は伸びる。第1志望校は変えずに併願校を見直そう。変更・追加する大学の合格発表日や手続き締切日をチェックし、無理なく受験できるかを確認する。
- ・やむなく志望校を変える場合は、学びの内容をしっかりと調べよう。

受験校追加・変更の考え方